

安全データシート
(Safety Data Sheet)

作成日：2025年1月20日

1 製品及び会社名

製品名： ファイブラッグ 防災生地
会社名： 株式会社 ネクサスCT
住 所： 福岡県福岡市天神4-7-11クレアビル 4F
電話番号： 090-3609-0783
FAX 番号： 050-5810-4960

2 危険有害の要約

GHS 分類

物理的危険性： 分類対象外又は分類基準に該当しない。

健康に対する有害性： 分類対象外又は分類基準に該当しない。

ラベル要素： 該当なし。

※耐炎繊維は労働安全衛生上の名称等を通知すべき（SDS の発行が義務付けられている）
有害物は含まれませんので製品ラベルの絵表示は行なっておりません。

危険有害性情報： 通常の取り扱いにおいて危険性は知られていない。

3 組成及び成分情報

物質の特定

化学組成：耐炎化ポリアクリルニトリル繊維 $\geq 99.5\%$

シリコーン系油脂・その他柔軟剤 $\leq 0.5\%$

危険有害性の原因となる成分：情報なし

耐炎繊維は化審法における官報工事整理番号及び PRTR 法・安衛法における政令番号に該当する化学物質ではありません。

4 応急処置

吸入した場合： 浄水で10回ぐらいうがいをする。また、軽く鼻をかむ。
もし、鼻や喉に痒み痛みなどの異常が残るようであれば医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合： 流水で洗い、刺激を感じるようであれば温水で石鹸を用いて洗う。

目に入った場合： 浄水で洗浄する。洗眼の際に瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。症状によっては医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合： 吐き出させて水でよく口を洗う。もし、吐き出せないなどの異常があれば医師の診断を受ける。

5 火災時の処置

適切な消火剤： 水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末消火剤 周りの状況によって、適切な消火剤を選ぶ。

使ってはならない消火剤： 特になし 周りの状況に合わせる。

その他の情報： 繊維は不燃ですが繊維上に加工した表面処理剤は一般に可燃性です。

燃焼時には通常発生する CO、CO₂、H₂O 以外の危険有害な燃焼副生成物はほとんど発生しない。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項：必要に応じて保護マスク、保護手袋、保護メガネを着用すること。

環境に対する注意事項：特になし。

回収、浄化の方法： 粉塵が飛散しないよう静かに清掃し、袋等に詰めて一般的な産業廃棄物と同様の扱いとして扱う。

7 取り扱いおよび保管上の注意

取り扱い上の注意事項： 吸い込んだり 眼・皮膚にできる限り触れないようにする。必要に応じて保護メガネ、手袋、防塵マスクを用いる。

保管上の注意事項： 直射日光、高温多湿を避ける。

8 暴露防止及び保護装置

設備対策： 局所排気装置及び洗顔、うがい、洗濯設備の設置がのぞましい。

管理濃度： 未設定

許容濃度： 日本産業衛生学会勧告値 吸入性粉塵 2ppm

保護具： 作業環境を考慮して、必要に応じて保護メガネ、手袋、防塵マスクをお使いください。

9 有害性情報

急性毒性： データなし

皮膚腐食性・刺激性： データなし

眼に対する重篤な損傷性： データなし

呼吸器又は皮膚感作性： データなし

生殖細胞変異原性： データなし

発がん性： データなし

生殖毒性： データなし

特定標的臓器・全身毒性 単回/反復暴露： データなし

吸引性呼吸器有害性： データなし

10 環境影響情報

生態毒性： データなし

残留性・分解性： データなし

生体蓄積性： データなし

土壌中の移動性： 該当しない

オゾン層破壊物質： 該当しない

11 輸送上の注意

輸送上の注意は特に無し。 国連分類及び国連番号には該当しない。

12 廃棄上の注意

廃棄の方法： 一般的な産業廃棄物と同様に取り扱う。

1 3 適用法令

危険有害性の分類基準の対象法令に該当しない。

1 4 その他

記載内容は、現時点で入手可能な資料およびデータを基に作成していますが、新たな知見により改訂される場合があります。なお、注意事項は一般的な取り扱いを前提としており、特殊な用途で取り扱う場合は、用途に応じた安全対策を講じた上でご利用ください。

※ 記載内容は情報提供を目的としたものであり、保証するものではありません。